

碩心

社団法人 日本詩吟学院岳風会 認可
神奈川 碩心会 発行

現在 会員数 170名
3月 地区別 279名
3月 地区別 57名
年 地区別 (506名)
3月 地区別 (506名)
返子地区 (506名)
葉山地区 (506名)
大船地区 (506名)
(合計)

63年3月号 (188号)
発行 者 萃 岳
根 岸 岳 集 者 岳
編 集 者 岳
中 村 愛 岳

詩吟と私

長柄支部 宮本 香山

長柄支部に入会させていたゞいて、早や六ヶ年が過ぎました。光陰矢の如しと申しますが、年と共に殊更に月日の経つのが早く感ぜられます。当時誰ひとり知りあいのない、不便な団地生活のため、淋しい毎日でした。以前から詩吟が好きでしたので、詩吟により、気分を転換をしたいと思ひ教場を探しました。そして岳風流の長柄支部のあることを知り、早速主人と共に入会させていたゞきました。

先生の熱心な御指導のもと、今年春には奥伝を受けるまでになりました。好きな詩吟でしたが、其の道に入ってみると、仲々むずかしく、段を重ねるにつれ、其の奥の深さを知りました。これからは尚一層の勉強をしなければと頑張っております。現在のところ、小学校一年生から、六年生になつたような心境です。育てて下さつた長柄の先生はもとより、多くの先生方に深く感謝いたしております。

詩吟の練習と共に、忌憚のないお話し合いの出来る先輩の方々や、諸先生のお陰にて毎日が明るく暮せるようになりました。詩

吟こそ生活の支えであり、生きがいでもあります。これから先、詩吟という大きな輪に囲まれ、皆様方の温情におすがりしながら、和の心を大切に、残り少ない人生を、楽しく、明るく過ごして行きたいと思っております。今後共一層の御指導と御交誼をお願い申し上げます。

◎全国大会・バス利用について

来る3月20日(日)両国国技館に於ける全国大会に、碩心会から94名が参加します。当日60人乗りバス一台をチャーターしました。乗車場所・時間は左記の通りです。

1. 葉山御用邸前 7時
2. 風早・田中屋前 7時 分
3. 逗子市役所前 7時 分

◎旧金指教場の担当師範交替と教場改称の件

本年一月二日、金指萌風先生が死去され、右の件につき、旧金指教場全員の協議の結果、左記の通り決定しました。

専任担当師範・千葉劍岳
教場名・逗子支部・若葉会
(吟による若返りを願望の意味で)

中正記念堂を觀て 感じて作有り

松和 宇都宮 徳風

昨年十月末、機を得て台北に赴き、宿願の故宮博物院を拝観し、五千年來の文化に触れ、その偉大士に感激致しました。その後三泊して、その他の名所を見物して参りましたが、台湾國民の活氣ある有様を肌で感じました。特に蔣介石前總統を頌徳する中正記念堂では、偶々衛兵交替の儀式を見、蔣總統父子への尊敬の中に、台湾國民の新たな活力が象徴されているのを強く感じました。

觀中正記念堂感而有作

宇都宮 徳風

反共抗日戦毛將

終統台湾國勢昌

瞠目衛兵交替儼

萬民敬仰中正堂

反共抗日戦毛の將

終に台湾を統べ國勢昌なり

瞠目す衛兵交替の儼なるを

萬民敬仰す中正堂

台湾旅行戯歌

◇自己紹介時の挨拶に代えて

此の度の 樂しプランに 乗っかって
仲よしになり たいわんの旅

◇故宮博物院を拝観す

以前から 来たい見たいの 故宮博
五千余年の 文化食わん

◇中正記念堂にて

瞠目す 中正記念の 堂内に
若き衛兵 交替の儀を

◇烏来仙狭見物

「タイヤル」 族民舞を見る
タイヤルは 昔呉鳳の首を取り
今は踊りて 客の金取る

◇中華料理喰へ歩く記

台湾と 広東四川 蒙古焼
北京飲茶と 良くも喰べたり

◇羽田空港に無事帰着して

飛行機が 無事に着陸 仕終れば
損した気になる 保険料かな

豆腐と詩吟

中村 幸岳

ご存知の方も多からうかと思いますが、京都の小高い丘にあるお寺の、草深い本堂の前に、お豆腐の効用についての大きな看板が立っています。曰く、

豆腐は殿様、大名が喰べれば庶民大衆も手輕に喰べる。お祝いの席でもよく、又悲しみの席でも喰べる。あたためてよく又冷してもよい。夏の暑い時でも、冬の寒い時でも好まれる。健康な人も喰べ、病人にも喜ばれる。栄養があつて害がない。……

カメラを持たず、同行者に遅れをとらぬよう、メモもできませんでした。要旨は右のような内容でした。日頃無意識に喰べているお豆腐も、云われてみれば成程と、感服したのを覚えていきます。ところで詩吟は如何でしょう。

格調が高く、然も大衆的である。お祝いの席でも喜ばれ、悲しみの席でも心を打たれる。健康によく、ストレス解消になる。子供から老人まで、然も男女共に好まれる。名士高官が吟ずれば、庶民一般も愛好する。一人でも出来れば、百人、

千人でも出来る。……
豆腐は白くてやわらかく、栄養があつて万人に愛されている様に、吟道を志す私達は、健康で、誠実で、心の頑ひらい、万人に愛される人となるよう、心掛けようではありませんか。

うまくいってまーす！

わが家の嫁・姑

神奈川県葉山町の伊藤さんちの嫁姑。

昨年暮、美容院で週刊誌をめぐっていたら、ふと右のようなタイトルで、お二人（伊藤峰岳・峰風）親子の仲睦まじい写真と記事がのっているのが目に入りました。以下お姑さんの談話。

「いつも自然体で飾らないようにしています。お互いに思いやりをもつことも必要です。それと趣味が合うのもいいものです」

とかく何かとよくない話題の多い嫁姑の問題。趣味が合うのもいいもの……いい言葉ですネ。ということであえて月報にのせさせていたゞきました。頑心会も夫婦・親子等の会員数の多いことは自慢できることと思ひます。

江南の春 杜牧（晩唐）

（NHK漢詩をよむより）

千里鶯啼いて緑紅に映ず

水村山郭酒旗の風

南朝四百八十寺

多少の楼台煙雨の中

見たすかぎり広々とつらなる平野の、あちらからもこちらからも、うぐいすの音が聞こえ、木々の緑が花の紅と映じあっている。

水村の村や山ぞいの村の酒屋のめじるしの旗が、春風になびいている。

一方、古都金陵には、南朝以来の寺院がたくさんたち並び

その楼台が春雨の中に煙っている。

江南：長江下流の南の地方。江蘇省南部、

安徽省、浙江省の一部の地。

山郭：山すその村

酒旗：酒屋が看板にしているのぼり。青又は白の布を竹竿につける。

南朝：建康（唐代には金陵、現在は南京）に都をおいた、宋、齊、梁、陳の王朝（420～589）をいう。

多少：多くの。

楼台：（楼）は二階以上の建物。（台）は高く盛った土台に建てたもの。
煙雨：もやのような春雨。

江南地方の春景を、前半は晴天の農村風景、後半は雨の古都のたたずまいという構成でうたっている。この前半と後半はバラバラではなく、明るい農村の風景と懐古のムードとが渾然一体となって、江南地方の春の情景を余すことなく描き出しているのである。

杜牧は、その青春時代を、江南、揚州の節度府の幕僚として過ごしている。この詩も、この当時、出張でこのあたりを訪れて作ったものかもしれない。

又江南の町には寺が多く、丘の上などにその塔を多く見ることができ「四百八十寺」の数については「南史」の「郭祖深伝」に「都下の仏寺五百余所：僧尼十余万：」という記述もあり、大体の数をいっただものである。



練吟
メモ 戦国武将の漢詩

○テレビで「武田信玄」が評判をとっている。漢詩でも知られている有名な三人の戦国武将について、簡単に述べてみたい。三人とは、お馴染みの上杉謙信、武田信玄、伊達政宗である。現在のところ教本に記載されている漢詩は、謙信の「九月十三夜」(一・20)、信玄の「偶作」(一・19)と「新正口号」(五・3)の三首であるが、日本漢詩史のうえでは、これに伊達政宗の作品が加えられることになっている。

○上杉謙信は禪を修め、和漢の書に通じ、和歌をよくし、書も巧みであった。また、謡曲、能、笛の名手とも言われ、茶道も堪能であった。大義名文を重んじ、戦国武将の花形で聖将とも称された。さて「九月十三夜」は、戦国武将にふさわしい名詩として高い評価を得ているが、しかし、謙信作の漢詩がこの一首だけしか伝えられていないというのは少々不思議なことである。

○武田信玄は、七八才の頃から兵書を学び二十一才のとき父を引退させて甲斐の国守となった。以後群雄と覇を競った経過は周知のとおりであるが、早くから禅学を修め三十代で入道となる。軍略家、外交家、ま

た民政家としても著名であったが、学問は当時の武将中随一と言われた。漢詩は七絶十七首が残っているが、「偶作」は武将たるの面目躍如たるものがあり、「新正口号」は、風流の一面をよく表わしたものとして世に知られている。

○伊達政宗については先頃のテレビでご案内のとおりであるが、関ヶ原の戦い参仙台城を築いて六十二万石を領した。茶道の心得あり、和歌、漢詩、書をもよくする一方、海外に志あり、スケールの大きな武将であった。政宗作の漢詩が教本にないので、一般に知られている次の一首を掲げておく。

遣興吟(けんきょうぎん)

馬上青年過ぎ

時平らかにして白髪多し

残軀は天の許す所

楽しまずしてまた如何せん

(通釈)

戦乱の世、馬に乗って駆けめぐる間にわが青春は過ぎ去り、世がおさまった今、白髪の目立つ年齢となった。

老いたこの身は天が許し与えたものであるから、

余生を楽しく送らないで、いったいどうしようというのか。

(住所変更)

266 水上昌風(新) 逗子市新宿一―二―三
ニューライフ 132号

(入会)

822 青木克己 葉山町下山口五九五
(下山口) (電)〇四六八―七五―四―一九

823 波田チエ 逗子市池子三―一五―一―二
(逗子A) (電)〇四六八―七三―三六九八

824 佐々木邦子 逗子市池子三―一八―一―四
(逗子A) (電)〇四六八―七三―〇六三六

825 川瀬美代子 逗子市逗子七―一四―一
(逗子A) (電)〇四六八―七二―一―三九

826 生井美知子 逗子市池子一―二―一―一
(逗子A) (電)〇四六八―七一―七四九四

827 木下和弘 横須賀市久里浜五―一三B―403
(吟) (電)〇四六八―三五―一六五二七

828 具志堅廣 横須賀市久里浜五―一三B―303
(吟) (電)〇四六八―三四―一九〇一〇

(退会)

220 齊藤好風(逗子B) 297 鴨原恵山(桜山B)

326 山本栄山(死)(銀 詠) 764 鈴木正子(逗子A)

808 高橋徳子(堀内D) 819 佐々木ミチ(三真澄)

みぞれまじりの冷たい雨降る寒い中を、総務の加藤先生のおばあちゃんが、入退会届を届けにきてくれました。家族の皆様のご協力に心から御礼を申しあげます。